

## Toyota Hands-On Museum

### JAXA准教授を迎え

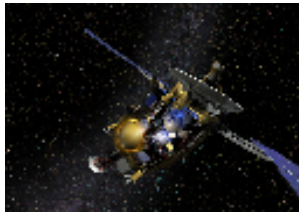
# はやぶさ講演会

111人参加

3月28日、プラネタリウムでJAXA准教授、吉川真氏を迎え『はやぶさ講演会』を開きました。

プラネタリウムで一般公開もされていますが、今回はJAXAの方から直接お話が聞けることもあり、111人が参加しました。公演終了後には、まだまだ講師へ質問したい人で輪ができました。

「はやぶさ」は2003年5月に日本から打ち上げられ、数々の困難を乗り越え、イトカワという小惑星の岩石を採取し、今年6月に帰還予定の小惑星探査機です。現在、館内でプラネタリウム投映の他、応援企画もやっています。みんなで「はやぶさくん」を応援しましょう！



右上、左：  
講演会の様子

左上：小惑星探査機  
HAYABUSA

### ひやひや、ドキドキ

## モーレツ！さかさコップ教室 はかせとポンチくん登場！

スペシャルサイエンスショー「モーレツ！さかさコップ教室」が3月7日に開かれました。講師は、京都市の小中学校の先生をしている東郷伸也氏（はかせ）と橋本年弘氏（ポンチくん）。午前の部は、79人、午後の部は、120人が見学しました。

さかさコップとは、「コップの中に水を入れ、画用紙などでフタをしてひっくり返しても水がこぼれない」という実験です。今回は、コップだけでなく、バケツ（写真：左）や円柱の水槽（写真：右）もひっくり返すことができるのか？ということに挑戦しました。本当にできるのかという実験に、会場の人たちは息をのみ、成功すると笑いとどよめきがおこりました。

見学した人は、「わくわく ドキドキだけではなく、ひやひや ドキドキして、笑わせてもらいました。」「はかせとポンチくんにまた会いたいです」という感想が聞かれました。



ポンチくん↑



はかせ↓

ポンチくん↑

### 星空を見上げて①

## 土星が見ごろ



5月の半ば、午後8時ごろ、南の空を見てみましょう。おとめ座の一等星スピカにならぶ土星が見ごろです。

土星の環は、毎年同じように見えるのではなく、およそ三十年をひとめぐりとしてその傾きを変えていきます。

昨年9月には、環がなくなったように見えました。

それからあまり間がないので、今年の環はごく細く、低倍率の望遠鏡で見ると、串だんごのような感じで見えます。見え始めているのは、環の北側の面で、これからおよそ十五年こちらの面を見続けることとなります。

とよた科学体験館では、毎月第3土曜日（5月15日、6月19日）午後7時から、プラネタリウムで夜の星空散歩の投映後、晴れていれば、駐車場に天体望遠鏡を設置して、ミニ観望会を開きます。ぜひ、自分の目で串だんごの土星を確かめてみましょう。



イラスト提供：惑星協会